

授業科目名 <英訳>	東洋史学（演習） Oriental History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 村上 衛					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	木2	授業 形態	演習	使用 言語	日本語
題目	在中国イギリス領事報告を読む										
【授業の概要・目的】											
中国近代の社会・経済に関する英文史料を精読する。英文史料を読むことによって、イギリス人などの外からの目を利用しつつ、中国近代社会経済史に対する理解を深める。											
【到達目標】											
英文史料の扱い方、長所・短所などを理解し、中国近代史を研究するにあたって利用する史料の可能性を広げ、また史料操作能力の向上を図る。											
【授業計画と内容】											
イギリス外交文書のうち、在中国イギリス領事の報告（FO228）を精読する。具体的には、中国における華人関係の紛争など、主として社会に関わる紛争を取り上げる。必要に応じてFO228に含まれている英文史料に対応する漢文史料も読む。なお、史料の内容は非常に細かいものが多いため、講義形式の解説を加え、史料を中国近代史の中に位置づけていく。 各回の計画としては、1～2回目の授業で史料について解説を行った後、3回目以降は担当者を決めて史料を読み進めていく予定である。											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点											
【教科書】											
使用しない テキストはコピーして授業の際に配布する。											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学習（予習・復習）等】											
指定部分の日本語訳											
（その他（オフィスアワー等））											
毎回、テキストの音読、読解を輪番で課すため、手書き文書に慣れるまでは予習に時間を要することになるだろう。ただし、扱う英文は主として部下（領事）から上司（公使）への報告であり、大部分はそれほど難解なものではないから、積極的な参加を期待したい。											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											